



# 週間情報



No.2719

発行日 平成27年5月19日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 第97回全国消防長会財政委員会の開催

#### 全国消防長会財政委員会

平成27年5月12日(火)、岐阜県美濃加茂市(シティホテル美濃加茂)において、第97回全国消防長会財政委員会を開催しました。

会議における報告事項、議案審議等については、次のとおりです。

#### 【報告事項】

第96回財政委員会以後の経過報告

#### 【議案審議】

- 1 国の無償使用制度の拡充について
- 2 緊急防災・減災事業の継続と対象事業等の拡大について
- 3 普通交付税の算定に、消防救急デジタル無線の維持管理に係る経費を適切に措置することについて
- 4 緊急消防援助隊設備整備費補助金に係る零細補助基準を廃止するとともに十分な予算額を確保することについて
- 5 緊急消防援助隊の派遣に係る経費について
- 6 平成28年度国の予算概算要求に関する要望書(案)について

#### 【情報提供】

次期開催地について



【財政委員会の開催状況】

### ◆ 第71回全国消防長会救急委員会の開催

#### 全国消防長会救急委員会

平成27年5月12日(火)、兵庫県明石市(ホテルキャスプルプラザ)において、第71回全国消防長会救急委員会を開催しました。

会議における報告事項、議案審議等は次のとおりです。

#### 【報告事項】

- 1 第70回全国消防長会救急委員会以降の委員の異動及び常任委員・副委員長を選出について
- 2 「救急車適正利用PRポスター」の審査結果について

#### 【議案審議】

- 1 第72回全国消防長会救急委員会の開催地について
- 2 転院搬送における救急車の適正利用に係る要望について

#### 【情報交換】

- 1 エボラ出血熱患者の移送に係る協力について
- 2 学校における応急手当普及啓発の取組について



【救急委員会の開催状況】

### 3 消防が関与するAEDの管理について

#### 【情報提供】

- 1 東京ルール事案の状況と頻回要請者への対応について
- 2 予防救急の推進について
- 3 札幌市で開催する「第24回全国救急隊員シンポジウム」について
- 4 平成27年度の消防研究センターの体制と事業概要について
- 5 救急振興財団の平成27年度事業概要について

## ◆ 第101回全国消防長会予防委員会の開催

### 全国消防長会予防委員会

平成27年5月14日(木)、岩手県盛岡市(ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING)において、第101回全国消防長会予防委員会を開催しました。会議における報告事項、議案審議等は次のとおりです。

#### 【報告事項】

- 1 副委員長及び常任委員の選任について
- 2 防火・防災管理者講習用テキスト編集委員会委員の推薦について
- 3 「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」改訂に係る意見・要望調査について
- 4 第100回全国消防長会予防委員会会議結果について
- 5 焼肉店の出火防止対策について

#### 【議案審議】

- 1 たばこ火災被害の低減対策に関する今後の注意喚起広報等のあり方について
- 2 次期開催地について

#### 【情報交換】

- 1 住宅への住宅用消火器及び住宅用スプリンクラー等の設置促進について
- 2 火災調査結果の火災予防への反映について
- 3 違反対象物に係る公表制度について

#### 【情報提供】

- 1 金属スクラップ火災に伴う川崎市の対応について
- 2 電気用品からの火災に係る関係省庁との連携について
- 3 高層の建築物における出火防止対策の推進について
- 4 平成27年度の消防研究センターの事業について
- 5 特定駐車場における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等について
- 6 公益財団法人日本防災協会の事業取組状況について
- 7 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせについて
- 8 自動火災報知設備・ガス漏れ火災警報設備工事基準書ハンドブック平成27年版のご紹介について
- 9 自動火災報知設備の点検実務マニュアル平成27年版のご紹介について
- 10 石油燃焼機器技術管理講習等の開催予定について
- 11 一般社団法人日本配線システム工業会の感震ブレーカーに関する活動について



【予防委員会の開催状況】

## ◆ 第21回全国消防長会警防防災委員会の開催

平成27年5月14日（木）福岡県北九州市（ステーションホテル小倉）において、第21回全国消防長会警防防災委員会を開催しました。

会議における議案審議等は次のとおりです。

### 【議案審議】

- 1 副委員長の選任について
- 2 第44回全国消防救助技術大会の審判長及び審判部長の推薦について
- 3 風水害における消防活動時の安全管理について

### 【情報交換】

- 1 大規模太陽光発電施設（メガソーラー）等の建設における宅地造成事業に対する消防水利設置指導について
- 2 徘徊者及び行方不明者の捜索について
- 3 消火活動に使用する公設消火栓の濁水処理等について

### 【情報提供】

- 1 平成26年8月広島土砂災害における消防活動概要について
- 2 最近の消防情勢について
- 3 平成27年度の消防研究センターの事業について
- 4 消防情報通信システムに係る保守委託について
- 5 日本防災協会の事業取組状況について
- 6 はしご車のオーバーホールに係る報告について

### 【その他】

次期開催地について

## 全国消防長会警防防災委員会



【警防防災委員会の開催状況】

◆ 平成27年度全国消防救助技術各地区指導会日程について

一般財団法人全国消防協会

平成27年度全国消防救助技術各地区指導会の開催日程等についてお知らせします。

地区支部	開催日	開催場所
北海道	7月18日(土) 10:00~15:00	札幌市消防学校 札幌市西区八軒10条西13丁目
東北	(陸上の部) 7月30日(木) 9:30~15:30	福島県消防学校 福島県福島市荒井字仲沢7
	(水上の部) 7月8日(水) 13:00~16:15	宮城県総合運動公園(グランティ21)総合プール 宮城県利府町菅谷字館40-1
関東	(陸上の部) 7月17日(金) 9:00~15:30	入間東部地区消防組合東消防署消防訓練場 埼玉県富士見市鶴馬1850-1
	(水上の部) 7月17日(金) 9:00~14:50	県営大宮公園水泳場 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4
東海	7月29日(水) 9:15~15:00	三重県消防学校 鈴鹿市石薬師町452番地
東近畿	7月31日(金) 10:00~15:10	京都市消防活動総合センター 京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94-4
近畿	7月19日(日) 9:30~16:00	(陸上の部) 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 神戸市中央区港島1-1-3
		(水上の部) 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター 神戸市中央区港島中町6-12-1
中国	7月22日(水) 9:30~15:00	広島県消防学校及び広島市総合防災センター 広島県広島市安佐北区倉掛2-33-1
四国	7月24日(金) 9:30~16:00	香川県消防学校 香川県高松市生島689-11
九州	7月24日(金) 9:00~14:30	北九州市消防訓練研修センター 福岡県北九州市小倉北区東港1-2-5

※開催日時・場所は状況により変更される場合があります。

### 行事

#### ◆ グリーンコンサートを開催

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局音楽隊は、毎年4、5月及び10月の金曜日に神戸市役所の南側にある東遊園地で「グリーンコンサート」を行っており、今年で37年目を迎えます。

グリーンコンサートでは、来場者の皆さんに消防音楽隊の演奏を楽しんでいただきながら、防災情報を分かりやすく発信しています。防災・安全情報に関心を持てるように工夫をこらし、市民の皆さんの防災意識が向上していくことを目指しています。

平成27年5月7日（木）のグリーンコンサートでは、本年8月29日（土）に当市内で開催される「第44回全国消防救助技術大会」の広報を行いました。

当日は、会場を訪れていた市内の小学生や、たくさんの来場者に向け、開催案内のビラを配布し、大会の開催場所や日程について広報したほか、救助技術向上のための訓練に励む救助隊員についてアピールを行いました。



### 訓練・演習

#### ◆ 集団災害訓練を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局北消防署では、南海トラフ地震が危惧されるなか、平成27年3月11日（水）、愛知学院大学名城公園キャンパス内において、名古屋市北区医師会及び北警察署と合同で集団災害訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震により建物が崩落し多数の負傷者が発生したという想定で、名古屋市医師会看護学校のボランティアの協力を得て、参加総数約150名で実施しました。

施設関係者の119番通報、現場救護所の設置、負傷者のトリアージ、高所及び低所からの救助、はしご車の梯体を使った2階からの救出などをブラインド型の訓練として行いました。今後も、各部隊や関係機関の連携強化を図っていきます。



【集団災害訓練の様子】

## 研修等

### ◆ 「防災基本指針」職員研修を実施

#### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成27年4月7日（火）からの3日間、「防災基本指針」についての職員研修を実施しました。

この「防災基本指針」は、発生すれば当管内において甚大な被害をもたらすとされている琵琶湖西岸断層帯地震を災害像とし、震災対策に特化した指針として当消防局が本年2月に策定したもので、市民、地域、事業者の責務や役割を明確にするとともに、消防から見た安全対策などについて示したものです。

今後はこの指針をもとに、更なる地域防災力の向上を目指し、全職員が住民に対して地域に密着した指導を行っていきます。

また、併せて本年3月に更新した新型防災指導車（愛称：グラドン号）の操作研修も実施し、起動方法等を確認しました。この防災指導車は、東日本大震災など過去に発生した地震や今後発生が危惧される南海トラフ地震など27種類の地震が再現可能です。より多くの住民の方に体験をしていただき、「防災基本指針」とともに地震に対する住民の意識の高揚に努めていきます。



【職員研修の様子】

## その他

### ◆ 外国人観光客対策 ～避難誘導にフリップボード（4か国語表示版）を活用～

#### 小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、毎年多くの外国人観光客が訪れることから、平成27年3月1日（日）、災害発生時における避難誘導の手法としてフリップボード（4か国語表示版）を作成し、有事の際に活用することにしました。

このフリップボードは、昨年当市において発生した宿泊施設火災の教訓を踏まえて考案され、市総務部の協力を得て、外国人に対して数回の検証を実際に行い、十分な理解、有効性を確かめて実用化されました。また、イラスト表示を併用することで、言語や防火意識の異なる外国人観光客にも容易に理解することが可能となります。

当市消防本部では、今後も多くの外国人観光客が訪れることを想定して、様々な安全対策を検討したいと考えています。



【フリップボード 英語版、中国語版、韓国語版、ロシア語版 計4か国語】

## ◆ 南相馬市消防・防災センター落成式及び高機能消防指令施設開通式を挙

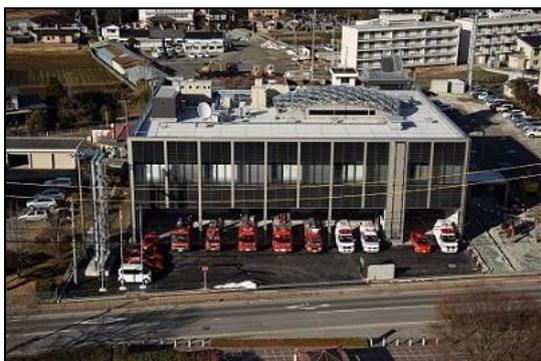
### 相馬地方広域消防本部（福島）

相馬地方広域消防本部では、平成27年3月24日（火）、南相馬市原町区に当消防本部及び南相馬消防署が併設する南相馬市消防・防災センターが落成しました。

当施設は、旧消防本部・南相馬消防署の併設庁舎が職員数の増加等により狭隘となっており、東日本大震災の影響で倒壊こそ免れましたが、今後の余震により消防活動に支障を来す事態が危惧されていたことから、鉄骨造3階建、制震構造（制震ダンパー）として新築され、市民が防災研修を行うスペースを広く設けるなど防災センターとしての機能を備えたものとなっています。

また、119番通報の受付から出動指令、車両の運用状況を管理する消防指令システムと、危険物施設や消防水利の位置情報を支援する情報管理システムを備える高機能消防指令施設を免震床構造のサーバー室に設置しました。

当日は来賓など約100名が出席、落成のテープカット、相馬地方広域市町村圏組合管理者の式辞、建設功勞事業所の表彰、高機能消防指令施設大型表示盤の除幕、庁舎内覧を行いました。



【消防・防災センター及び高機能消防指令施設】

## ◆ 新庁舎の開庁式を開催

### つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、平成27年3月26日（木）、当市消防本部及び中央消防署を一体化した新庁舎の開庁式を開催しました。

新消防庁舎は、東日本大震災や竜巻災害の教訓を踏まえ、迅速な初動体制の確保するため、当市役所と同一敷地内に建設しました。庁舎棟には免震構造を採用し、さらに非常用給油取扱所や災害用給水設備（深井戸式）を備えたことで、「市民の安全・安心な暮らしを守る」市の中核を担う新たな防災拠点として期待されています。

また、太陽光発電設備（蓄電池設備付属）や雨水利用設備（トイレ洗浄・放水試験として利用）を設置するなど、環境にやさしい新消防庁舎となっております。

○施設概要 敷地面積：13,313.99㎡ 建築面積：2,519.30㎡ 延べ床面積：4,558.81㎡

○庁舎棟

鉄筋コンクリート造（免震構造）地上3階建 1階：署事務室・会議室・仮眠室等 2階：本部事務室・会議室・食堂等 3階：高機能消防指令センター・消防団会議室・多目的ホール等

○車庫棟

鉄骨造 地上1階一部3階建（訓練塔A・B）防火衣着装室・防火衣洗濯乾燥室・救急消毒室等

○訓練塔 鉄骨造 地上5階建

○非常用給油取扱所 ガソリン・軽油 各1万L



【新庁舎の開庁式を開催】

## ◆ 宝塚市高度救助隊発隊式を実施

### 宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成27年3月30日（月）、宝塚市高度救助隊発隊式を実施しました。

4月1日から運用する高度救助隊は、本部直轄の部隊として、新たに新設した救急救助課に配置しました。部隊編成は、統括隊長1名、1隊8名2交替制で計17名の隊員が配置されました。隊員は、消防大学救助科、高度・特別高度救助コース、兵庫県消防学校救助科を修了した隊員を基本として消防長が任命し、誰もが高度救助隊員としての知識・技術・精神力を兼ね備えています。

装備は、昨年10月に整備した最新鋭の救助工作車Ⅲ型に、地震警報器、画像探索機、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置といった高度な資機材を積載しています。

当市で発生した全ての救助事案、建物・車両・航空機火災、中国自動車道の管轄エリアで発生した災害に対応し、その他必要に応じて出動します。また、緊急消防援助隊兵庫県隊の救助部隊として、全国各地の被災地に出場し救助活動を展開していきます。



【宝塚市高度救助隊発隊式の様子】

## ◆ 豊中市消防局に名称を変更

### 豊中市消防局（大阪）

豊中市では、平成27年4月1日から広域的な業務を開始したことを契機に、消防組織の名称を豊中市消防局に変更し、4月10日（金）に、浅利敬一郎豊中市長をはじめ多くの関係者を招いて、豊中市消防局移行記念式を開催しました。

当市は、4月1日から豊中市・池田市消防指令センターにおいて、池田市と消防指令業務の共同運用を開始しました。また、同日から府内で唯一常備消防を持たない能勢町の消防事務の受託を開始し、同町内に開設した豊中市北消防署能勢町分署で火災などの災害対応や救急業務のほか、事業所への立入検査などの予防業務を行います。

浅利市長からは、「組織的に連携して、しっかりと訓練を積み、消防局としての自負心を持って、市民の皆さんの生命と財産を守ってください。」と訓示をいただき、井ノ本学消防局長は「職員一人ひとりが士気を高め、中核市として消防局の名にふさわしい使命感を持って、責務を果たしたい。」と力強く決意表明を行いました。



【豊中市消防局移行記念式の様子】

## ◆ 「伊勢田救急出張所」新庁舎の竣工式を実施

宇治市消防本部（京都）

宇治市消防本部では、平成27年4月2日（木）、老朽化した伊勢田消防分署の建て替え工事が完成し、西消防署伊勢田救急出張所と名称を改め、竣工式を実施しました。

新庁舎は鉄骨造2階建て、延べ面積436㎡の規模を有し、災害時の一時避難場所となる防災広場スペースを確保、集中豪雨対策として周囲を浸透性のアスファルトとし3.2tの貯留機能を持たせました。

また、新たに普通救命講習会が開催できる会議室等を設け、西宇治地域を中心とした救急拠点として増加する救急需要に十分対応できると期待されます。



【新庁舎の竣工式の様子】

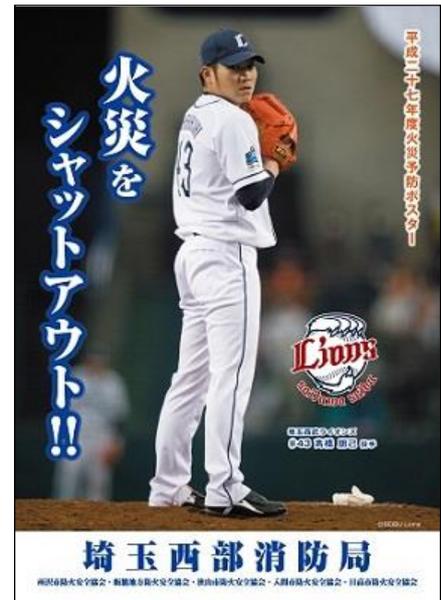
## ◆ 「火災をシャットアウト！！」～埼玉西武ライオンズ 高橋朋己投手～ 火災予防ポスターを作成

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、地域で活躍するプロ野球チーム「埼玉西武ライオンズ」の協力のもと、平成27年度の火災予防ポスターを作成しました。

モデルは埼玉西武ライオンズの抑えの切り札として活躍が期待される高橋朋己投手です。キャッチフレーズも高橋投手にちなんで「火災をシャットアウト！！」としました。

このポスターは、今年度、当消防局管内（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）の事業所や公共施設などで掲出されます。



【火災予防ポスター】

## ◆ メールアドレスの変更について

- 32002 都留市消防本部（山梨）  
新メールアドレス [syoubou-syomu@city.tsuru.lg.jp](mailto:syoubou-syomu@city.tsuru.lg.jp)  
平成27年5月14日から運用開始

※ 先週の週間情報（5月14日No.2718号）で湯浅広川消防組合消防本部の住所変更を掲載しましたが、誤りがありましたので訂正し、お詫び申し上げます。

- 53220 湯浅広川消防組合消防本部（和歌山）  
住所 〒643-0002 有田郡湯浅町大字青木670番地（下線部が訂正部分）

## 消防学校からの便り

### ◆ 初任科入校式を挙げる

千葉県消防学校では、平成27年4月7日(火)、初任科第160期の入校式を挙りました。

29の消防(局)本部より129名(内9名は女性)が入校し、9月14日(月)までの間、厳しい教育訓練を受けることとなります。

当消防学校では、近年頻発している自然災害に立ち向かえる消防人を育成するべく、教職員がチームスピリットで教育訓練を実施し、卒業後は、全員が県内の各地域で活躍することを期待しています。

#### 千葉県消防学校(千葉)



【代表学生による宣誓の様子】

### ◆ 初任科生が入校

#### 京都府立消防学校(京都)

京都府立消防学校では、平成27年4月8日(水)、京都府消防長会会長、京都府消防協会副会長及び府内各消防長の参列のもと、初任教育第42期の入校式を挙りました。

今年度の初任科生は、京都府内13消防本部から50名(内1名は女性)の入校で、11月13日(金)の卒業(予定)までの約7か月、厳しい教育訓練を受けることとなります。

また、初任教育がほぼ修了となる10月の1か月間、専科教育救助科を組み入れ、初任科生にも同時受講させる予定としています。

京都府民の安心・安全のために活躍できる消防人を育てるため、教職員全員が一丸となって教育訓練の指導にあたり、そして、入校生50名全員が誰一人欠けることなく卒業することを期待しています。



【校長から式辞を受ける入校生】



【宣誓をする入校生】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 平成27年度防火対象物実態等調査の実施について(依頼)(5月1日、消防予第186号)

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

標記については、予防行政の円滑な運営、予防対策の企画立案等の基礎データとするため、毎年実施しておりますが、今年度においても、下記(省略)のとおり調査を実施いたしますので、管轄する区域の防火対象物の実態等について調査の上、報告いただくようお願いします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2705/pdf/270501\\_yo186.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2705/pdf/270501_yo186.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課予防係  
担当：齋藤、武内

## 情報提供

### ◆ 2015（第19回）JFFW 交流会

—— 「日本の中心から女性パワーを発信！～更なる飛躍を目指して」 ——

JFFW交流会事務局

“JFFW”は、Japan Fire Fighting Women's Clubの略で、女性消防吏員が中心となり研修会等を実施しています。

毎年実施される交流会では、全国から消防職員が自主的に集まり勉強会や情報交換を行い、消防本部の枠を越え消防職員相互の親睦を深めるとともに自己研鑽を図っております。

昨年のJFFW交流会は横浜で結婚、出産、育児、健康問題、ハラスメントなどの数々の問題を乗り越えて輝きながら長く働き続けるための課題と解決策をそれぞれ専門分野の方々をお招きし、皆さんと一緒に考えてみました。今年も昨年のテーマを引き継ぎ、諸問題をハード面、ソフト面を分けて具体的に話し合い、先輩・専門家のアドバイスを得て、更なる飛躍を目指して、日本の中心名古屋にて開催します。

1 日時 平成27年6月27日（土）10時30分から17時00分

2 会場 愛知県女性総合センターウィルあいち  
〒461-0016 愛知県名古屋市東区上堅杉町1 052-962-2511

3 参加者 全国消防吏員及びOB等支援者で参加を希望する方  
参加申し込み定員 200名（定員になり次第締め切らせていただきます）

4 参加費 交流会4000円程度（昼食・資料代等）・懇親会4000円程度（懇親会費）

5 交流会 内容（9:30 開場・受付開始）

10:30～10:45 開会 挨拶、エール交換

10:45～11:40 基調講演 消防庁消防・救急課長 山越 伸子 氏  
「女性職員の更なる活躍に向けた方策について」（仮題）

11:50～15:10 分科会（昼食を囲みながら）

11:50～13:15 第一部「女性消防吏員の思い（ハード面）」

① 現場（警防、救急、救助他）

② 日勤（査察、建築、危険物、違反処理・庶務他）

③ 現場⇄日勤の入口（お互いの業務を知るチャンス）

13:20～14:30 第二部「ソフト面（ステージごとの悩み相談）」

① ハラスメント

② 家庭との両立（結婚、出産、育児など）

③ 女性のリーダーシップ

14:40～15:10 分科会発表

15:10～15:30 集合写真撮影

15:30～16:45 特別講演

(株)レインボーコミュニケーション代表取締役 山田千穂子氏

「自分を知る。相手を知る。おもてなしの心で繋ぐコミュニケーション」

16:45 閉会 挨拶

6 懇親会 アイリス愛知 18:00～20:00（愛知県名古屋市中区丸の内2-5-10）

7 その他 内容詳細、参加申し込みはホームページから

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~club-jffw>

- ※ 問い合わせ先：J F F W交流会事務局  
 (岡崎市西消防署 田辺・山口/0564-34-0119【名古屋開催実行委員】)  
 (川崎消防署 熊谷/044- 223 -0119) (相模原市消防局 消防総務課 野口/042-751-9116)
- ※ Eメール [club-jffw@xrh.biglobe.ne.jp](mailto:club-jffw@xrh.biglobe.ne.jp)

◆ 「平成27年度防災啓発研修講演会」のお知らせ

一般財団消防科学総合センター

- ・目的  
 社会、経済環境の多様化に伴う災害の要因の複雑化、被害増大の傾向に対応し、消防防災関係者等に対して広く防災に関する知識の普及に努め、地域の防災力の向上を図ること。
  - ・開催場所 日本消防会館 (ニッショーホール)  
 港区虎ノ門2-9-16
  - ・受講対象者 都道府県、市町村及び消防本部等の職員並びに一般住民(定員700名)
  - ・受講料 無料
  - ・申込方法 電話もしくはメールで下記へご連絡ください。  
 一財) 消防科学総合センター 担当：企画研修部 渡辺  
 電話：0422-49-1113  
 メール：y-watanabe@isad.or.jp
  - ・演題、講師(敬称略)等
- 7月2日 10:00～10:10  
 あいさつ 高田 恒 (一財 消防科学総合センター理事長)
- 10:10～11:00  
 大規模災害に備えた消防防災体制の拡充・強化  
 室田 哲男 (総務省消防庁国民保護・防災部長)
- 11:00～12:00  
 災害情報の強化について 岩城 慎一 (消防科学総合センター常務理事)
- 13:00～14:30  
 防災教育について(仮題) 国崎 信江 (危機管理教育研究所代表)
- 14:40～16:10  
 地震を知って震災に備える(仮題) 尾池 和夫 (京都造形芸術大学学長)
- 7月3日 10:00～11:00  
 自主防災組織の経緯と今後(仮題) 黒田洋司 (消防科学総合センター研究開発部長)
- 11:00～12:00  
 災害に強いまちを目指して(仮題) 白鳥 孝 (長野県伊那市長)
- 13:00～14:30  
 防災・減災の知恵(仮題) 渥美 公秀 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)
- 14:40～16:10  
 東日本大震災からの復旧・復興について(仮題) 菊地 啓夫 (宮城県岩沼市長)

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)